

行動計画	具体的な行動	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
これからの市民活動と協働を担う人づくり	①市民の機会創出による意識醸成 市民一人ひとりが住み続けたい亀岡、将来のまちのあり方を考え、また、現時点の地域課題を意識し、市の職員を含めた多様な主体が課題解決に向けて共に考え、意見を交わすための機会としてワークショップ等を実施します。		●私たちがかめおか、未来のまち語りフォーラムの開催（６団体、２６名）	●まちづくり活動博覧会2022の開催（12団体、21名）	●霧の芸術祭マルシェでの市民活動団体WSの出展（２団体、マルシェ参加者1500名）	●まちづくり活動博覧会（市民活動GAMEDAY）の開催（2団体、11名）	●まちづくり活動博覧会の実施
	②多様な市民参画方法について研究と検討 若者や働く世代など、時間に制約のある市民が市民活動やまちづくりへ、自主的に楽しみながらできる仕組みについて意識調査等を行いながら、研究・検討を進め、試験的に実施します。	●市民活動団体アンケートの実施 対象１８１団体、回答56団体 ●亀岡市支えあいまちづくり協働支援金 ・スタート事業（１件 160,000円交付） ・ステップアップ（1件 200,000円交付） ・市民連携事業（１件 400,000円交付）	●協働に関する事業所アンケート(対象500事業所、回答150事業所) ●私たちがかめおか、未来のまち語りフォーラムの開催（６団体、２６名） ●亀岡市支えあいまちづくり協働支援金 ・スタート事業（３件 376,00円交付） ・ステップアップ（4件 432,000円交付） ・市民連携事業（1件 160,000円交付）	●まちづくり活動博覧会２０２２の開催（12団体、21名） ●亀岡市支えあいまちづくり協働支援金 ・スタート事業（4団体 652,000円交付） ・ステップアップ（5件 900,000円交付） ・市民連携事業（1件 400,000円交付）	●市民活動推進フォーラム ●霧の芸術祭マルシェでの市民活動団体WSの出展（２団体、マルシェ参加者1500名） ●はじめてのまちづくり活動応援プログラム（５団体 471,000円）	●市民活動見学会の計画 ●まちづくり活動博覧会（市民活動GAMEDAY）の開催（2団体、11名） ●はじめてのまちづくり活動応援プログラム（3団体 316,000円交付）2団体辞退	●市民活動見学会の実施 ●まちづくり活動博覧会の実施 ●はじめてのまちづくり活動応援プログラム
	③多様な担い手の掘り起こし 中学生や高校生、大学生など、ボランティア活動に関わっている層が新たに市民活動に触れる機会創出や情報提供を行います。	●亀岡市支えあいまちづくり協働支援金スタート事業（１団体 160,000円交付）	●私たちがかめおか、未来のまち語りフォーラムの開催（６団体、２６名） ●亀岡市支えあいまちづくり協働支援金スタート事業（３団体 376,00円交付）	●まちづくり活動博覧会２０２２の開催（12団体、21名） ●亀岡市支えあいまちづくり協働支援金スタート事業（4団体 652,000円）	●市民活動推進フォーラム ●霧の芸術祭マルシェでの市民活動団体WSの出展（２団体、マルシェ参加者1500名） ●はじめてのまちづくり活動応援プログラム（５団体 471,000円）	●まちづくり活動博覧会（市民活動GAMEDAY）の開催（2団体、11名） ●はじめてのまちづくり活動応援プログラム（3団体 316,000円交付）2団体辞退	●まちづくり活動博覧会の実施 ●はじめてのまちづくり活動応援プログラム
	④市民活動と協働事例の発信 本市やかめおか市民活動推進センターのweb サイト等を活用して、市内外の活動事例を提供します。	●成果報告会（R1年分）4/26開催予定 中止 ●支援金活動報告HP	●成果報告会（R2年分）4/24開催（19名） ●支援金活動報告HP	●支援金活動報告HP ●交付金HP	●市民活動紹介冊子の作成（霧芸×市民活動）（15団体） ●支援金活動報告HPとパネル掲示 ●交付金HPとパネル掲示 ●後援事業のホームページ掲載約29件	●支援金活動報告HPとパネル掲示 ●交付金HPとパネル掲示 ●後援事業のホームページ掲載約29件	●市が実施するイベントでの市民活動のPR 職員向け市民活動支援制度・活用団体の周知
	⑤市職員を対象とした協働について考える機会の創出 なぜ協働が必要か、現在まで行政や職員が関わった市民活動や協働について全職員に向けて情報を発信し、これからの協働の意義、業務外においても個人が取組めることについて考える機会を設けます。	●職員向け市民活動支援制度活用団体の周知 ●新規採用職員研修の実施	●職員向け市民活動支援制度活用団体の周知 ●新規採用職員研修の実施	●職員向け市民活動支援制度活用団体の周知 ●新規採用職員研修の実施	●職員向け市民活動支援制度活用団体の周知 ●新規採用職員研修の実施	●職員向け市民活動支援制度活用団体の周知	●職員向け市民活動支援制度活用団体の周知

行動計画	具体的な行動	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
市民活動と協働を進めていくためのコーディネート機能強化	①市民活動と支援拠点に関する広報 市民活動というものについて広報するとともに、相談や支援を行う拠点として「かめおか市民活動推進センター」の利用促進を図ります。また、生涯学習施設や社会福祉協議会といった各分野における支援拠点についても併せて広報をします	●広報かめおか、亀岡市SNS、チラシ、HP ●くすのき瓦版での登録団体の紹介（センター） ●くすのき瓦版での登録団体の紹介（センター）→先方の都合で当面掲載無し	●広報かめおか、亀岡市SNS、チラシ、HP ●メーリングリスト（講座・助成金情報）（センター） ●くすのき瓦版での登録団体の紹介（センター）→先方の都合で当面掲載無し	●広報かめおか（５件）、亀岡市SNS、チラシ、HP ●講座・助成金情報のメーリングリスト（センター）（６件）	●広報かめおか（４件）、亀岡市SNS、チラシ、HP ●講座・助成金情報のメーリングリスト（センター）（４７件） ●センター業務委託先を（公財）生涯学習かめおか財団に変更	●広報かめおか（５件）亀岡市SNS、チラシ、HP ●講座・助成金情報のメーリングリスト（センター）（７０件）	●広報かめおか、亀岡市SNS、チラシ、HP
	②相談業務の充実 団体立ち上げや管理運営、法人化に関する相談や情報提供、書類等作成の支援やそれらに関する講座・研修を実施するとともに、必要に応じて専門組織に繋がります。	●支援金申請の事前ヒアリングを実施 ●相談受付（センター）（６件） ●会議室利用者数(センター)（4,906人） ●お役立ち講座（センター）（中止） NAWASHIRO基金と地域交響PJ交付金の説明会を意見交換会と同日に予定していた ●チャリティー講座の実施（センター） 「かめおかecoマルシェの役割」（１名） 「PC・スマホ「・オンラインを活用しようSNS・ZOOMの使い方入門」（１３名） 「丹波亀山城の秘密を探ろう」（１３名）	●支援金申請の事前ヒアリングをセンターで実施 ●相談受付（センター）（３２件） ●会議室利用者数(センター)（3,944人） ●お役立ち講座（センター）（中止） ●チャリティー講座の実施（センター） 「保津川流域に鎮座する神々からみえる亀岡の地域特性」（１６名） 「SDGｓ 亀岡市の取り組みについて」（１２名）	●支援金申請の事前ヒアリングを実施 ●相談受付（センター）（１９件） ●会議室利用者数(センター)（7,812人） ●チャリティー講座の開催 「SNS・メール活用入門講座」（１７名） 「亀岡の日本蜜蜂は元気かな」（２７名） 「京都発地域経済の再考」（２６名）	●かめおか市民活動推進センター受託団体を公財)生涯学習かめおか財団に変更 ●支援金申請の事前ヒアリングを実施 ●相談受付（センター）（２０件） ●会議室利用者数（センター）(8,047人) ●センターの運用検討会の実施	●相談受付（センター）（１１件） ●会議室利用者数(センター)（8,885人） ●支援金申請の事前ヒアリングを実施（１１件） ●R5センター検討会を受けた取組の実施	●相談受付（センター） ●R5センター検討会を受けた取組の実施
	③マッチング等繋ぎの創出 それまで繋がりがなかった団体や人など、それぞれの資源を生かした協働を促進するために、マッチングなどを通じた繋がりを生み出します。		●私たちがのかめおか、未来のまち語りフォーラムの開催（６団体、２６名）	●まちづくり活動博覧会2022の開催（12団体、21名）	●霧の芸術祭マルシェでの市民活動団体WSの出展（２団体）（1500名）	●まちづくり活動博覧会（市民活動GAMEDAY）の開催（2団体、11名）	●まちづくり活動博覧会の実施
	④課題掘り起しのための仕組みづくりの検討 それぞれの地域について、どのような課題があるか掘り起こして共有し、解決策を考え、取組に繋がる仕組みを検討します。	●市民活動団体アンケートの実施 対象１８１団体、回答56団体					
	⑤交流の場づくり 団体間や、これまで活動に関わったことのない人や企業が交流できる場や、互いを知るとともに共生や公共について考える機会を作ります。	●市民フォーラム（センター）（パネル展示のみ） ●意見交換会（３月13日 10団体14人※理事5名含む）	●市民フォーラム（センター）（２月26日に開催予定も中止）（パネル展示のみ3月5日～28日） ●意見交換会（３月26日 14団体15名※理事4名市1名 計20名）	●市民活動推進フォーラム「Enjoyボランティア!」の開催（センター）（４８名） ●意見交換会（13団体 21名）	●市民活動推進フォーラムの開催（センター） ●はじめてのまちづくり活動応援プログラム中間報告・交流会（５団体） ●意見交換会（32団体、39名）	●はじめてのまちづくり活動応援プログラム中間報告・交流会（３団体） ●意見交換会（20団体 25名）	●市民活動推進フォーラムの実施（センター） ●はじめてのまちづくり活動応援プログラム中間報告・交流会

行動計画	具体的な行動	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
市民活動と協働を支えるための資金等の充実による活動団体の活性化	①亀岡NAWASHIRO基金の周知と充実 亀岡 NAWASHIRO 基金について、寄付による活動参画や公共への理解促進に繋がる広報等の手法を研究し、実践します。	●マッチング助成の実施（N基金） ※1団体、コロナで見送り ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ・1団体、コロナで見送り	●チャレンジ助成金の実施（N基金） 6 団体交付 ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ・1団体	●チャレンジ助成金の実施（N基金） 15団体交付 ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ・1団体	●チャレンジ助成金の実施（N基金） ・7団体交付 ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ・2団体	●チャレンジ助成金の実施（N基金） ・8団体交付決定 ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ・2団体 ●共感大賞の実施（N基金） ・4団体受賞	●チャレンジ助成金の実施（N基金） ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ●共感大賞の実施（N基金）
	②亀岡NAWASHIRO基金を通じた寄附の呼びかけ 基金を活用する団体に対して広報や運営に関する助言を行うなど、寄付金の効果の可視化を進め、寄付をする側とされる側が循環を意識できる行動を進めていきます。	●マッチング助成の実施（N基金） ※1団体、コロナで見送り ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ・1団体、コロナで見送り	●チャレンジ助成金の実施（N基金） 6 団体交付 ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ・1団体	●チャレンジ助成金の実施（N基金） 15団体交付 ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ・1団体	●チャレンジ助成金の実施（N基金） ・7団体交付 ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ・2団体	●チャレンジ助成金の実施（N基金） ・8団体交付決定 ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ・2団体 ●共感大賞の実施（N基金） ・4団体受賞	●チャレンジ助成金の実施（N基金） ●共感者集めプログラムの実施（N基金） ●共感大賞の実施（N基金）
	③団体や企業との連携 企業においても CSR は重要事項であり、立地地域への理解や協力、交流、寄付等の資金面での援助、そして地域活動や市民活動自体へのなどを呼びかけていくことで、協働の輪を広げていきます。		●協働に関する事業所アンケート(対象500事業所、回答150事業所)				
	④情報の収集と発信 地域内の交流を促進し、コミュニティの活性化を推進するとともに、市内や他地域の活動団体、企業についての情報を収集し、効果的に発信していくことで、団体内や団体間で刺激し合い、運営や活動の幅が広がるための支援をします			●ふるさと亀岡まちづくり応援交付金の創設（創設時登録団体6団体） ・ R5からの寄附募集団体(新規2団体) ・ 寄附募集（1,186,000円）	●ふるさと亀岡まちづくり応援事業の実施（登録団体 7 団体） ・ 交付（5団体 776,000円） ・ 1団体脱退 ・ R6からの寄附募集団体(なし) ・ 寄附募集(850,000円）	●ふるさと亀岡まちづくり応援事業の実施（登録団体7団体） ・ 交付（3団体 620,000円） ・ R7からの寄附募集団体(継続 2 団体） ・ 寄附募集（873,000円）	●ふるさと亀岡まちづくり応援事業の実施（登録団体4団体） ・ R8からの登録団体募集